

遊佐沿岸域検討部会

山形県遊佐町沖 海底地盤調査概要のご説明

2025年1月30日（木）

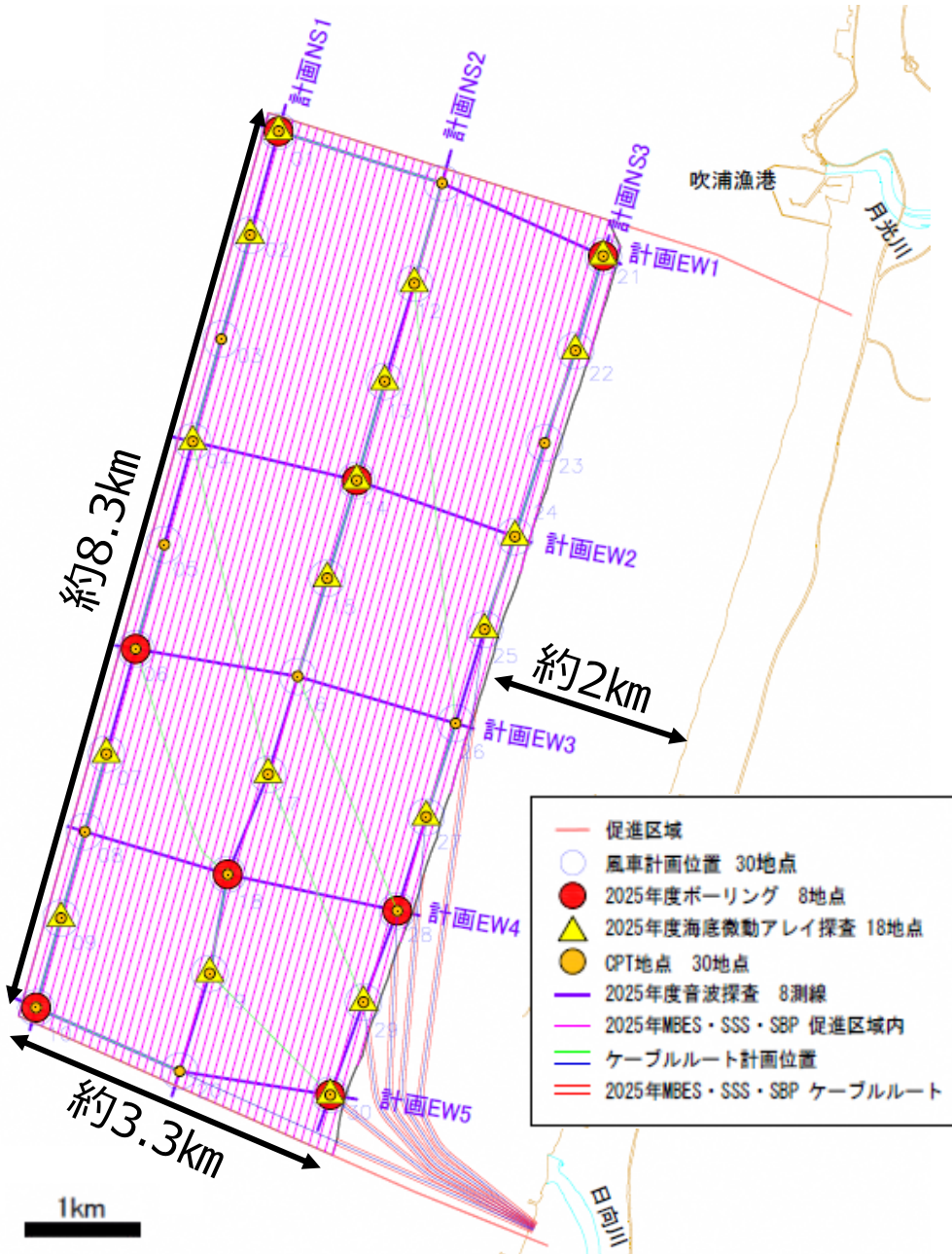
山形遊佐洋上風力合同会社

海底地盤調査の概要

- 現地調査時期は2025年4月頃～8月末を予定しております。
※天候次第では10月中旬まで延長する可能性があり、その場合は事前に周知致します。
- 調査概要については下表の通りです。

調査項目	調査内容
音波探査	<ul style="list-style-type: none">➤ 調査船から海底に向けて音波を発振しつつ船を曳航することで、海底の地形や海底下の地層分布を確認します。
海底微動アレイ探査	<ul style="list-style-type: none">➤ 海底に複数の微動計を設置し、調査船から海底に向けて発振した音波が地盤内を伝播する速度を測定します。➤ 18箇所を調査します。
ボーリング調査	<ul style="list-style-type: none">➤ 海底下50m～80mまで直径約10cmの孔を掘り、海底の地質状況を確認します。➤ 調査の際には、海底上に鋼製のやぐらを常時設置し、その上にボーリング用の機械をセットします。➤ 8箇所を調査します。
コーン貫入試験 (CPT調査)	<ul style="list-style-type: none">➤ 調査船上から先端が円錐形の形をしている測定装置を海底下60m～200mに貫入させ、地盤の抵抗や水圧を測定します。➤ 30箇所を調査します。

調査海域



➤ 調査海域は左図の通りとなります。

— : 音波探査

▲ : 海底微動アレイ地点 (18箇所)

● : ボーリング地点 (8箇所)

● : CPT調査地点 (30箇所)

を予定しております。

➤ 海底ケーブルルートの調査については以下項目の実施を予定しております。(詳細は検討中です)

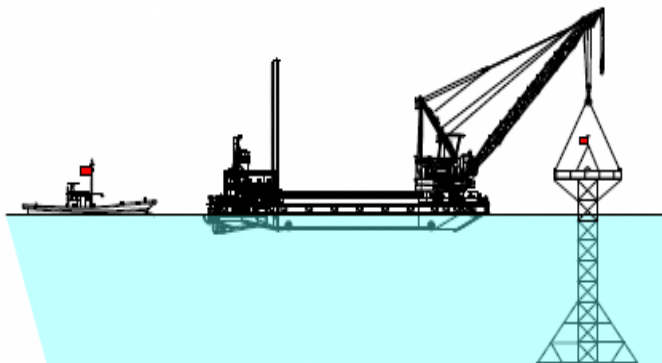
- 音波探査：陸から1海里以内のケーブルルートにおける海底下の地層分布を確認します。
- 潜水調査：ケーブルルート上の任意の点で潜水士により突き棒貫入調査を行います。
- CPT調査：ケーブルルート上の任意の点で5m程度の深さまでCPT調査を行います。

調査内容の詳細（ボーリング調査）

- 鋼製檣を用いたボーリング調査を8箇所で行います。

【ボーリング調査】

- 調査は海底面上に設置した鋼製檣上で行います。
- 檣の設置にはクレーン船を使用します。
- 調査期間中、檣は常設しますが、台風通過の際には撤去します。
- 調査の際には、漁業者様より傭船した監視船を各檣に配置します。
- ボーリング孔の直径は10cm程度、海底面下50m～80m程度まで掘進します。（地盤条件により変更の可能性があります。）
- 削孔中、適宜、孔内にて地盤の固さを調べる調査をします。



鋼製檣の運搬状況模式図



鋼製檣の設置状況図

調査内容の詳細（CPT調査）

- 専門の調査船を用いたCPT調査を30箇所で行います。
- 調査は24時間施工で1箇所あたり1～3日程度を見込みます。

【CPT調査】

- 円錐形のコーンを海底に貫入させ、その際の貫入抵抗を測定します。
- 孔の大きさは10cm程度、海底面60m～200m程度まで掘進します。（地盤条件により変更の可能性あります。）
- 調査の際には監視船を配備します。



CPT調査船（一例）

